

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

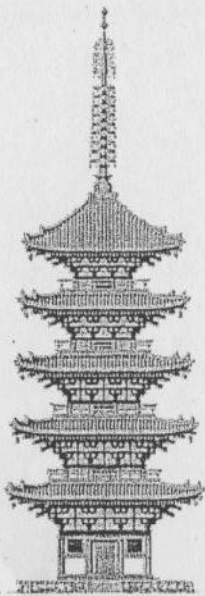
皆さんこんにちは。朝晩はすっかり涼しくなりましたね。季節の変わり目です。くれぐれもご自愛ください。

★不動明王信仰の東海霊場巡り

先月号では、日本最小の四国霊場の「写し」、ここ覚王山八十八ヶ所霊場に匹敵する小さな「写し」があり、密封じ寺として有名な西浦不動こと無量寺（蒲郡市）をご紹介します。

日本全国には様々な霊場巡りがあります。無量寺は東海三県に広がる三十六不動尊霊場の第十九番札所。愛知県には一番から二十二番の札所があり、名古屋市内にはそのうち六番から十五番の十カ所があります。

十番札所は大須観音。ご本尊は観音菩薩ですが、その脇侍として不動明王が祀られています。十四番札所は、覚王山からほど近い八事のお不動さん。正式には不動山大学院と言います。



不動明王

★覚王山の不動明王

ところで、覚王山霊場で不動明王にご縁がある札所は四つ。中でも興味深いのは第三十七番札所の藤井山岩本寺（ふじいさんいわもとじ）。不動明王のほか、観音菩薩、阿弥陀如来、薬師如来、地藏菩薩の五体のご本尊が祀られています。

弘法大師が土佐窪川に五体のご本尊を一体ずつ奉納した五寺を建立しましたが、いずれも戦火で消失。そのため、五寺を統合して岩本寺として再建。五体のご本尊を一緒に祀り、今日に至っています。

一度に五体の仏様が拜める岩本寺の「写し」は、奉安塔裏のE地区にあります。ぜひお出かけください。

第三十七番 岩本寺 不動明王・聖観世音菩薩・阿弥陀如来・薬師如来・地藏菩薩



★不動明王が中心の五大明王

さて、先月号では十二体の仏様がひとつになった**十二天**をご紹介しましたが、今月号では五体の明王がセットになった**五大明王(五大尊)**についてお伝えします。

仏像の種類は菩薩・如来・明王・天部・その他の五つ。明王は教えに背く人々を怒った顔で諭します。如来が姿を変えたものとも言われています。

明はもともと**知識・学問**を意味します。学を極め**真実の言葉(真言)**を身に付けた人を持明者(じみょうじゃ)と言います、**明を諭す仏を明王**と呼ぶようになったそうです。

明王にはたくさん種類があり、その中のいくつかを一組にして信仰する風習があります。**十大明王、八大明王**という組合せもありますが、もっとも人気が高いのは**五大明王**。

リーダー格は**不動明王**で中心に鎮座。東に**降三世明王(ごうさんせみょうおう)**、南に**軍荼利明王(ぐんたりみょうおう)**、西に**大威徳明王(だいいたくみょうおう)**、北に**金剛夜叉明王(こんごうやしやみょうおう)**が配置されます。

五大明王は**密教の大成者、不空和尚の仁王護国般若波羅蜜**というお経に出てくるのが始まり。古くは十二天と同様に天皇が護国祈願を行う**後七日御修法(いしちにちのみしほ)**に用いられていましたが、時を経て民衆にも普及。**無病息災や利益増進**などを祈願するようになりました。

五大明王配置図



★国宝の五大明神絵画

東海地方で最も有名な五大明王は**岐阜県揖斐郡大野町の来振寺(きぶりじ)**のご本尊。国宝です。金剛夜叉明王の代わりに**烏枢沙摩明王**が描かれています。

来振寺には**弘法大師御影図**をはじめ、絵画や彫刻など多くの歴史的な仏教芸術品が収められています。揖斐郡方面にお出かけの際は、一度お訪ねください。

★次回は青面金剛

次回は前述の八事のお不動さんに奉納されている**青面金剛**についてお伝えします。文字通りの**青い顔に三匹の猿**を従えたユニークな仏様です。乞うご期待。